

最終募集

2018年9月7日
立教大学経営学部

2018年度 Short-term Study Abroad Program2 (タイ・マレーシア9日間)



1. プログラム概要

<目的> アジアで活躍できるグローバル人材を育てる。

最終募集なし

	タイ	マレーシア
テーマ	「経済回廊開通による東南アジアと日本の未来を考える」	「多文化共生と経済発展について」
訪問国	タイ: バンコク、チェンライ・チェンコン国境	マレーシア: クアラルンプール
訪問大学	泰日工業大学(バンコク) メーファールアン大学(チェンライ)	HELP大学
事前研修	11月12日・19日・26日、12月3日・10日・17日、1月21日(月)6限 1月12日(土)・19日(土)3限・4限 2月15日(金)1限・2限・3限・4限 2月16日(土)出発前面談	11月12日・19日・26日、12月3日・10日・17日、1月21日(月)6限 1月12日(土)・19日(土)3限・4限 2月28日(木)3限・4限 3月1日(金)出発前面談
渡航日程	2019年2月19日(火)～2月27日(水) 9日間	2019年3月6日(水)～3月14日(木) 9日間
事後研修	3月18日(月)～20(水)帰国後面談 3月22日(金)3限4限 報告&ワークショップ	3月18日(月)～20(水)帰国後面談 3月22日(金)3限4限 報告&ワークショップ
プログラム概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アセアン経済共同体(AEC)の発足や3つの経済回廊(南北、東西、南部)の開通などにより、東南アジアでのタイの存在感がましています。バンコクとタイ北部のチェンライの企業、NGO団体を訪問し、都市部と郊外の経済格差、南部経済回廊の国境間貿易・物流の現状から周辺国(特に中国)との関係を考察します。 ・現地大学生(泰日工業大学、メーファールアン大学)と、タイ、日本の将来や両国の学生のキャリアへの考え方の違いなどについて意見交換をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多民族国家であるマレーシアの首都クアラルンプールの大学、企業、先住民村、長屋(ロングハウス)を訪問し「多文化共生と経済発展について」考えるプログラムです。大学では歴史や文化を学び、地元学生や留学生と共同ワークショップで交流を図ります。 ・マレーシア文化に適応したビジネスを展開し経済発展に寄与している日系企業の訪問、開発の一方で住居を移転した市民が住む長屋などを訪問し意見交換をします。
費用 ※1	24～28万円(2017年度24万円)	22～25万円(2017年度23万円)
募集人数	20名(最少催行人数10名)	10名(最少催行人数6名)
引率	一部企業訪問・大学訪問時に経営学部教員が引率します。 アイ・シー・ネットのご担当者が日本から引率します。	一部企業訪問時に経営学部教員が引率します。
協力	アイ・シー・ネット株式会社、HIS	SEAPCP Communication、日新航空

※1: *参加人数、為替レート、燃油サーチャージなどにより、変動の可能性があります。

*最終的な支払金額は決定次第お知らせいたします。(11月予定)

更に: 旅行傷害保険料、手荷物超過料金、現地での食費、観光時の諸雑費他 ががかかります。

◆各プログラム日程詳細は、4ページに記載

2. 単位と評価: 秋学期 4 単位 評価はシラバスを確認すること。年間の履修登録上限に算入される。

科目名: Short-term Study Abroad Program2

3. 応募資格

* 英語レベルが TOEIC500 点以上相当のもの。

* 履修上限単位に含まれるため、2018 年度秋学期に 4 単位登録が可能なもの。

履修中止した単位数は、履修上限単位に含まれます。詳細は教務事務センターに確認すること。

* 2018 年度秋学期に履修すべき必修科目がある場合、本科目の履修が認められない事があります。

* 事前・事後研修・渡航期間の全日程に参加が可能なもの。

* 申込・参加において保証人の同意を得られるもの。

4. 配当年次: 1 年次生、2 年次生、3 年次生、4 年次生 (4 年生は卒業対象外科目)

5. 応募方法

以下の 5 つの書類を経営学部国際交流事務局 (マキムホール 6 F) へ提出お願いいたします。

* 郵送での応募可: あて先: 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

立教大学 経営学部国際交流事務局宛

注) 郵送の場合は、「特定記録郵便」にて送付のこと

①2018 年度 Short-term Study Abroad Program2 履修希望届

②課題 (1. 参加志望理由、2. 東南アジアへ渡航する上で想定されるリスクとその対策) をワープロを使用し A4 用紙 1 枚程度に纏めること

③成績参照システムの個人画面のコピー (2018 年春学期迄の履修状況が確認できるもの)

④TOEIC スコアレポートのコピー (プレイスメントテストの結果でも可)、追加で TOFEL、IELTS、英検スコアレポートのコピーも提出可能。

⑤経営学部長宛の誓約書

6. 募集・選考

募集案内	応募時期	選考結果連絡
9/7 (金)	9/11 (火) ~9/18 (火) 16:00 ※郵送の場合は 9 月 18 日 消印有効	~9/25 (火)

・上記書類選考の結果、履修を許可されたものは 9 月 25 日 (火) に経営学部掲示板に発表する。

また結果は応募者全員に SPIRIT メールアドレスに案内します。

・本科目は履修中止対象外科目であることを理解したうえで、応募願います。

7. 履修許可後の手続き

選考の結果、合格者は 10 月末日までに旅行申込書 (保護者の同意書付) の提出をお願いします。

旅行申込書は 10 月初旬に配布いたします。

8. 参加費用の支払い (予定)

2018 年 12 月中旬までに指定の口座への振り込みをお願いします。

参加費用、振込口座、振り込み期限等は参加決定者へ後日お知らせいたします。

9. 奨学金

- ・本科目はグローバル奨学金対象となります。希望学生は学生厚生課に確認すること。
- ・JASSO 奨学金 7 万円（給付型）申請が可能です。奨学金受給には成績他の条件があります。希望学生は経営学部国際交流事務局に確認のこと。
- ・世帯収入条件によっては JASSO より渡航支度金 16 万円が支給されます。詳細は経営学部国際交流事務局に問い合わせること。（追加で書類の提出が必要となる場合があります）
- ・奨学金の受給が参加の条件となる場合は、必ず、申込時にその旨意思表示をすること。
特に JASSO 奨学金受給が条件の学生は、履修申込時に奨学金の応募書類も同時に提出すること。

10. その他

- ・応募者が最低催行人数（タイ 10 名・マレーシア 6 名）未満の場合は中止となります。
- ・＜プログラムの実施＞
 - ◆タイ：アイ・シー・ネット株式会社、株式会社エイチ・アイ・エスの協力で実施されます。
 - ◆マレーシア：日新航空サービス、コーディネーターとして砂澤嘉代氏、ジョン・タン氏（SEA PCP 東南アジア大衆コミュニケーションプログラム創設者）の協力のもと実施されます。
- ・次年度以降の募集時に、参加者向け説明会での報告の協力をお願いすることがあります。
- ・食事 ◆タイ：朝食付き。昼食・夕食はつきません。
 - ◆マレーシア：基本朝食・昼食・夕食はつきません。
- ・宿泊先は 1 部屋 1 名～3 名となります。
- ・日程は変更となる可能性があります。
- ・本プログラム実施期間をカバーする海外旅行傷害保険（死亡・障害・疾病・損害賠償責任付）に加入頂きます。保証内容に一定基準があるため、立教大学経営学部が指定する保険に加入すること。

11. お問い合わせ先

経営学部国際交流事務局（マキムホール 6 F:M611）永森 03-3985-4288 cobointern@rikkyo.ac.jp

開室：平日（月～金）9:00～17:00（8/1～9/19 は 16:00 に閉室 土日祝日 8/10～20 は閉室）

オフィスアワー 月・水・金 12:30～16:00

<日程詳細>

① タイ : 2/19 (火) ~2/27 (水)

	日付		行程	宿泊先
1日目	2月19日	火	成田午前発→バンコク夕方着 到着後バスにてホテルへ オリエンテーション、市内体験ツアー	バンコク
2日目	2月20日	水	企業訪問(日系企業3社) JETRO他 日系非製造業企業訪問、日本企業関係者との夕食	バンコク
3日目	2月21日	木	タイ現地法人企業訪問(1社) 泰日工業大学訪問ワークショップ、現地学生と夕食	バンコク
4日目	2月22日	金	NGO訪問(教育分野など) 中間まとめ バンコク⇒チェンライ移動 (航空便)	チェンライ
5日目	2月23日	土	ドイ・カム王室プロジェクト訪問 日系企業訪問	チェンライ
6日目	2月24日	日	チェンコン国境視察(タイ・ラオス) (国境市場見学・通関事業所職員から話を聞くなど)	チェンライ
7日目	2月25日	月	NGO訪問(教育分野など) メーファールアン大学ワークショップ、現地学生と夕食	チェンライ
8日目	2月26日	火	まとめ、PM:市内散策・観光などチェンライ⇒バンコク 夕刻:チェンライ⇒バンコク 帰国 バンコク深夜出発	機内
9日目	2月27日	水	⇒成田着	

*上記日程は変更となる可能性があります。

② マレーシア : 3/6 (水) ~3/14 (木)

	日付		行程	宿泊先
1日目	3月6日	水	JL723 成田11:05発→クアラルンプール18:10着 到着後バスにてYMCAへ オリエンテーション	YMCA クアラルンプール
2日目	3月7日	木	マレーシア市民団体(NGO)を訪問します。ナイトマーケット	YMCA クアラルンプール
3日目	3月8日	金	HELP大学訪問 現地学生と共に、文化・歴史・経済・多文化共生などを学びます。	YMCA クアラルンプール
4日目	3月9日	土	先住民村、ロングハウス(長屋)などを訪問します。 市内観光	YMCA クアラルンプール
5日目	3月10日	日	国立博物館、パトゥーケイブ、ツインタワーなど訪問します。 市内観光	YMCA クアラルンプール
6日目	3月11日	月	企業訪問(日系企業3社) ハラルビジネス関係の企業、商工会議所等を訪問します。	YMCA クアラルンプール
7日目	3月12日	火	企業訪問(日系企業3社) エネルギー関係の企業を訪問します。	YMCA クアラルンプール
8日目	3月13日	水	フィールドワーク(多文化共生)、まとめ(テーマについての考察、発表) 帰国 JL724 クアラルンプール22:50出発	YMCA クアラルンプール
9日目	3月14日	木	⇒成田 6:45着	

*上記日程は変更となる可能性があります。